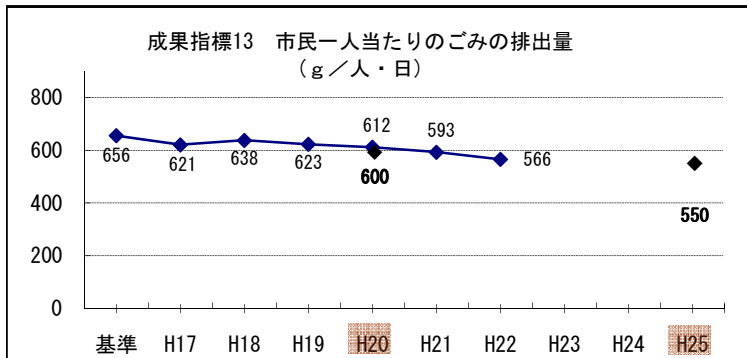


柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	I リデュース・リユース
ビジョン	買う人・売る人・作る人 いつも心に“もったいない”

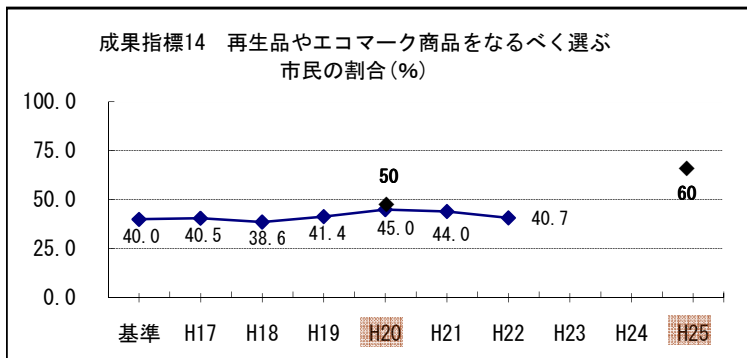


主な事業
 ごみ指定袋制、レジ袋の有料化
 集積場所での資源回収
 EM処理剤の無料配布
 広報等による啓発

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 「市民一人当たりのごみ排出量」は、18年度に引越しごみの一時的な増等により638gまで増加したが、19年度以降減少傾向にあり、22年度も567gへ減少した。成果指標の達成は順調である。

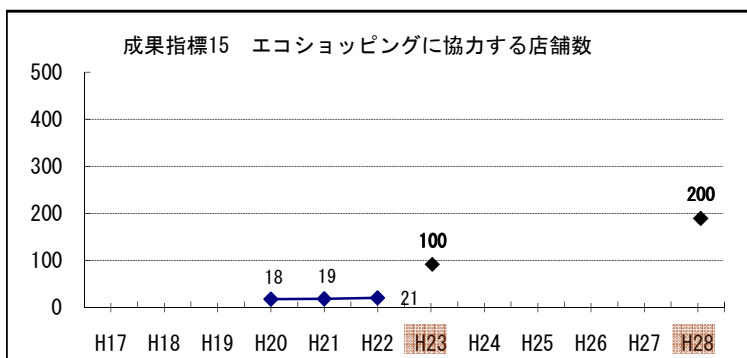


主な事業
 リサイクルフェア
 資源集団回収
 分別収集事業
 広報等による啓発

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 「再生品やエコマーク商品をなるべく選ぶ人の割合」は、19年度まで基準値を上下していたが、20年度に45%へ上昇したが、22年度は基準値とほぼ同程度となったため、順調でない。今後も、レジ袋の有料化の推進や啓発冊子、広報誌、ホームページの充実を図り啓発する必要がある。



主な事業
 レジ袋有料化
 広報等による啓発

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

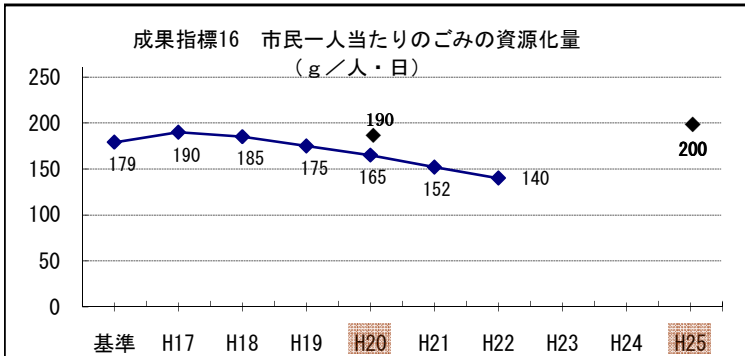
成果指標の分析
 レジ袋有料化店舗数は21店舗で、前年度とほぼ横ばいで目標値を下回っている。(この指標は有料化店に限定していないが、他のエコショッピング実施店の捕捉が困難となっている。)

成果が向上する余地(可能性)は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

- ①啓発冊子(ごみ収集カレンダー・ごみと資源の出し方)や広報等を通じ、3R活動の促進や適正排出を呼びかける。
- ②3R推進ホームページの内容を充実し、3R活動の促進を呼びかける。
- ③買い物における環境貢献活動を促進するため、レジ袋有料化店舗の拡大と普及啓発を推進する。

柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	J リサイクル・適正処理
ビジョン	子どもの未来を考えて、自然にやさしい処理・処分

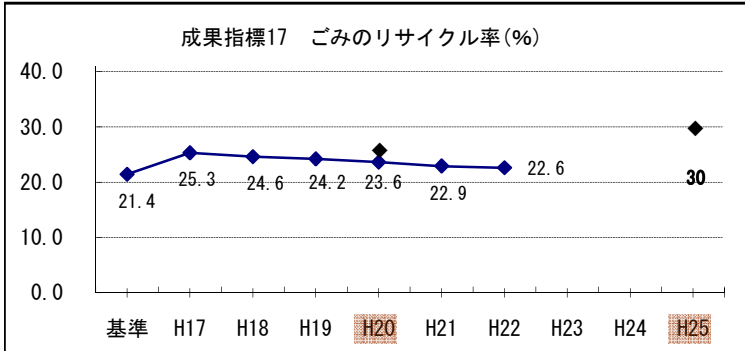


主な事業
 リサイクル情報事業
 フリーマーケットの開催
 リサイクルフェア開催

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 「市民一人当たりのごみの資源化量」は、17年度をピークとして、以降は減少に転じ、22年度は前年度に比べ12g減少した。これは主に紙類が418tの減となったため、主な理由として、容器包装の軽量化、紙類の民間回収の活性化や不況の影響により折込広告・段ボール等が減少したため、順調でない。

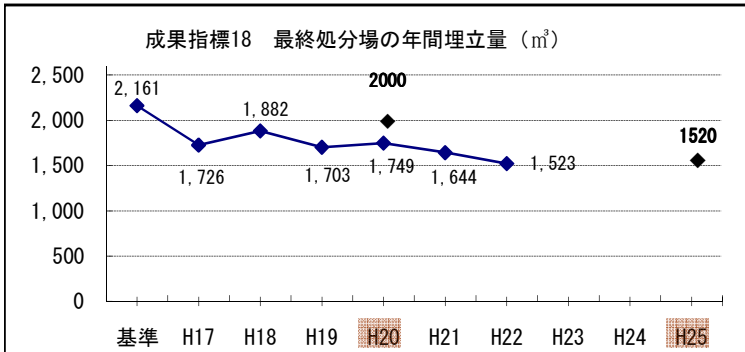


主な事業
 リサイクル情報事業
 フリーマーケットの開催
 リサイクルフェア開催

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 「ごみのリサイクル率」は、容器包装の軽量化、紙類の民間回収の活性化や不況の影響により折込広告・段ボール等が減少したため、資源回収量全体で359tの減となり、家庭系ごみ量の減少はあったものの資源回収量の減少率が大きかったため、22年度は前年と同程度となっているものの、成果指標の達成は順調ではない。



主な事業
 清掃工場・最終処分場の適切な維持管理
 広域ごみ処理場の整備推進

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 最終処分場の年間埋立量は、コンクリート・陶磁器類等の搬入制限や清掃センター以外でのリサイクル等処理を実施し、18年度の転居増等に伴う引越しごみの一時的増加を除いて、ほぼ順調に減少し、22年度は、1,523m³となり、成果指標の達成は順調である。
 年間埋立量の内訳としては、市の東犬久利最終処分場への埋立量が1,350m³、衣浦3号地最終処分場への埋立量は173m³であり、22年度の最終処分量は合計で1,523m³となっている。

成果が向上する余地(可能性)は? 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

- ①啓発冊子(ごみ収集カレンダー・ごみと資源の出し方)や広報等を通じ、3R活動の促進や適正排出を呼びかける。
- ②3R推進ホームページの内容を充実し、3R活動の促進を呼びかける。
- ③一般廃棄物処理施設整備基金を活用して清掃工場の延命化を図る大規模修繕の実施と、23年3月から開始した衣浦3号地最終処分場への持込みを継続実施する。